

福

ふくの

野

散策
MAP



D-5 重要文化財 巖浄閣

明治36年4月に富山県立農学校校舎として建設された、県内唯一の明治期の学校建築。明治時代の地方の木工棟梁が独自に洋風の意匠を摂取し、習熟した様子を示す貴重な建造物です。

TEL.0763-22-2014 【営業時間】10:00~15:00 要事前連絡
【定休日】高校の休日は休館 【料 金】無料



C-2 フローラルパーク

特産である菊の育成・研究に力を入れ、「スプレー菊」として毎年新しい品種を作り出し、広く普及に取り組んでいます。また、野外には4つのテーマゾーンごとに植物が配されており、色々なイベントの会場としても使用されるなど、人々の憩いの場となっています。

TEL.0763-22-8711 【営業時間】9:00~17:00
【定休日】火曜(祝日の場合は翌日) 【料 金】無料



D-1 高野山真言宗 安居寺

奈良時代にインドから渡来した僧によって創建されたと伝えられるのが安居寺です。霊験あらたかな「やすすい」の観音様の寺として、地元の人々だけではなく、全国から参拝者が訪れます。また、国指定重要文化財の聖観音立像をはじめ、数多くの文化財が保存されています。

**福野ごっつお
里いも祭り**

【毎年11月下旬】

里いもの収穫感謝祭として開催されている祭り。会場では、里いも汁・田楽・おにぎりがセットになったチケットメニューや、里いもコロッケ、里いもおはぎなどが販売されます。ステージで行われる吹奏楽演奏や民謡などを観賞しながら、多彩な里いも料理を楽しめるのが魅力です。



歳の大市

【毎年12月27日】

慶安3年(1650年)の町立てから現在まで続く、福野地域の朝市。その朝市の縮めくりであり、年末の風物詩となっているのが「歳の大市」です。当日には、JR福野駅近くの交差点を中心に200余りの店が立ち並び、市のシンボルである臼や杵などの木製品、正月用品、野菜などが道路を埋め尽くします。



お問い合わせ

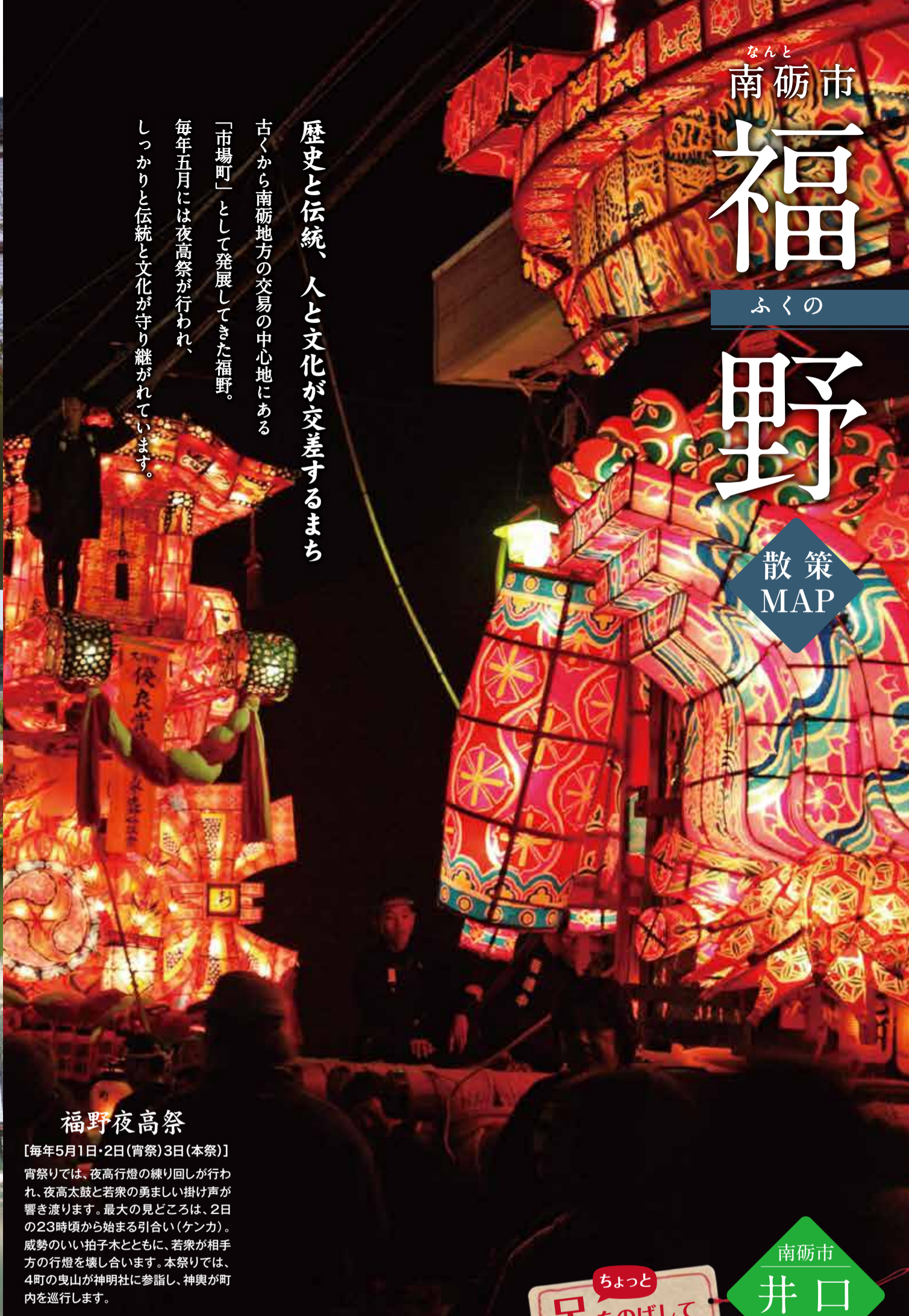
福野観光案内所

〒939-1576 富山県南砺市松原新1767(JR福野駅内)
TEL (0763)22-8700 FAX (0763)22-8707

一般社団法人 南砺市観光協会

〒939-1842 富山県南砺市野田1058-1
TEL (0763)62-1201 FAX (0763)62-1202

HP <http://tabi-nanto.jp/> くわしくは [旅々なんと](#)



歴史と伝統、人と文化が交差するまち

古くから南砺地方の交易の中心地にある

「市場町」として発展してきた福野。

毎年五月には夜高祭が行われ、

しっかりと伝統と文化が守り継がれています。

福野夜高祭

【毎年5月1日・2日(宵祭)3日(本祭)】

宵祭りでは、夜高行燈の練り回しが行われ、夜高太鼓と若衆の勇ましい掛け声が響き渡ります。最大の見どころは、2日の23時頃から始まる引合い(ケンカ)。威勢のいい拍子木とともに、若衆が相手方の行燈を壊し合います。本祭りでは、4町の曳山が神明社に参詣し、神輿が町内を巡行します。



スキヤキ・ミーツ・ザ・ワールド

【毎年8月下旬】

世界の様々な音楽との出会いはもちろん、アーティストによるワークショップなどで世界の文化にも触れ合うことができます。また、スティールドラムやアフリカの打楽器ジャンベのワークショップの受講者たちが結成した「スキヤキ・スティール・オーケストラ」と打楽器集団「サラレクム」による演奏も披露されます。

南砺菊まつり

【毎年11月上旬】

約30,000本の菊を使用した競技花、総合花壇や造形菊など、色とりどりの菊花が展示され、県内外から多数の菊愛好家が訪れます。また、現代感覚のスプレー菊の展示も必見。毎年、この祭りで新品種が開発され、「南砺・福野ブランド」としてPRされています。



ちょっと
足をのばして

南砺市
井口
いのち



A-4 いのち椿館

井口地域の花である椿をメインとしたコミュニティ施設。椿には人を惹きつける魅力があるといわれ、その美しさに誘われて、多くの人が訪れています。周辺の散居村風景に溶け込んだ建物内には多彩な椿が展示され、心穏やかなひとときを過ごせます。

TEL.0763-64-2202 【営業時間】9:00~17:00
【定休日】水曜日、年末年始 【料 金】無料



A-5 赤祖父湖

赤祖父山の山裾にある、周囲約3kmの人工湖。周辺には、バーベキュー場やパットゴルフ場、集いの広場などがあり、四季折々の自然の美しさを体感しながらアウトドアを楽しめます。また、ヘラブナ釣りのスポットとしても有名です。



A-5 赤祖父円筒分水槽

赤祖父溜池の円筒分水槽。ため池に蓄えられた水を均等に分配するため、人の手を介さないよう、円筒分水が設置されました。内円筒から溢れ出す水の様が美しいです。